令和７年１０月２７日

南風原町長　赤嶺正之　殿

南風原町社会福祉協議会
会長　大城　正治　殿

南風原町地域福祉推進計画評価委員会
委　員　長　　上地　武昭

第３次地域福祉推進計画の評価について（答申）

令和７年７月 31 日付け、南こ第 2402 号、南社協第 1169 号で諮問のありましたみだしの件につきまして、本評価委員会で慎重に審議を重ね、計画の進行管理に関すること及び計画の施策について評価の確認を行いました。

別紙意見書等を添えて答申いたします。

（別紙）
１：第３次南風原町地域福祉推進計画進捗状況報告まとめ（令和６年度分）
２：意見書

第３次南風原町地域福祉推進計画進捗状況報告まとめ
（令和６年度分）

令和６年度から令和10年度までを計画期間とする第３次南風原町地域福祉推進計画では「ちむぐくるで笑顔あふれる福祉のまち南風原」を基本理念とし、３つの基本目標を掲げ目標達成に向けてそれぞれの基本施策を柱に具体的な取り組み事項を計画策定しております。
今回、第３次南風原町地域福祉推進計画で定めた施策の取組や進捗状況を把握するため、令和６年度の進捗状況の検証・評価を行いました。評価結果は以下のとおりです。

【評価基準】
Ａ　計画どおりに実施できた
Ｂ　概ね実施しているが、やや不十分な点がある
Ｃ　一部しか実施できず、不十分な点が多い
Ｄ　実施できなかった

■施策実施状況

基本目標	実施主体	A	B	C	D	計
1.共に支え合えるまちづくり	役場	42	8	2	0	52
	社協	15	14	4	0	33
2.自分らしく自立して暮らせるまちづくり	役場	89	10	0	1	100
	社協	14	6	0	0	20
3.安全・安心な人にやさしいまちづくり	役場	13	9	0	0	22
	社協	3	3	2	0	8
小計	役場	144 (82.76%)	27 (15.52%)	2 (1.15%)	1 (0.57%)	174 (100%)
	社協	32 (52.46%)	23 (37.7%)	6 (9.84%)	0 (0%)	61 (100%)
実施項目合計		176 (74.9%)	50 (21.28%)	8 (3.41%)	1 (0.43%)	235 (100%)

■割合

役場と社協の実施状況を合計した割合は、A評価が約75%、B評価が約21%、C評価が約3%、D評価が約1%となっており、A評価とB評価を合計すると約96%となります。これにより、順調に事業が実施されていることが確認できます。
一方、基本目標別に見ると、「1.共に支え合えるまちづくり」において、C評価とD評価の大半を占めており、住民参加の仕組みづくりや地域福祉活動の推進に関する一部施策に課題が残る結果となりました。
今後も、役場と社会福祉協議会だけでなく、地域住民や各社会福祉法人、関係機関、企業等と連携し、笑顔あふれる福祉のまちづくりを目指していきます。

別紙２

意　見　書

評価委員会において各事業を確認したところ、町と社会福祉協議会が連携し施策展開を図っており一定の成果がありました。しかしながら、事業の取組で改善すべき点もあることから、今後はその対応に取り組むと共に、現状で高評価の事業についても更に内容を向上させるなど積極的な推進が重要です。

今後の計画推進にあたっては、下記の意見に十分に配慮し、「ちむぐくるで笑顔あふれる福祉のまち南風原」の実現に向けて、着実な推進を図るよう要望いたします。

記

１．計画の推進

本計画の推進にあたっては、住民や関係機関・団体、社会福祉法人をはじめとした各種法人、サービス事業者、企業等が地域福祉を担う主体として互いに連携し、それぞれの役割を果たしながら、協働して計画の推進を図ってもらいたい。

２．人材確保と育成

地域福祉を支える人材の確保と育成は重要であり、特に民生委員・児童委員について、委嘱率及び資質の向上に引き続き取り組んでもらいたい。

３．福祉意識の高揚

他市町村の事例も研究しながら、住民が地域福祉活動に参加しやすくなるきっかけとして、研修会や福祉に関する学びの場を提供を進めることで、住民や関係団体の福祉意識高揚に取り組んでもらいたい。

４．包括的相談体制の構築

高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、生活困窮者支援等のそれぞれの相談機関だけでは対応しがたい複合的な課題は、重層的な支援が必要であり、各機関が連携・協働する包括的な相談体制を構築してもらいたい。

５．災害時の体制強化

災害時に備えて平時からの見守りや支え合い活動の推進、防災を我が事として取り組む機運醸成及び要支援者の災害時対応の検討を進め、体制強化に取り組んでもらいたい。